



記念講演「イキイキ長寿健康法～腸を大切にすれば元気に生きられる～」(上)、各地公衛協の活動紹介パネルコンテスト会場(中)、うちエコ診断コーナー(下)、各地

11月12日、第35回おのみち市民健康まつりが尾道市総合福祉センターで開催され、1千400人が参加しました。健康まつりは、尾道市、尾道市公衆衛生推進協議会、おのみち市民健康まつり実行委員会

のまち市民健康まつりが尾道市総合福祉センターで開催され、1千400人が参加しました。健康まつりは、尾道市、尾道市公衆衛生推進協議会、おのみち市民健康まつり実行委員会

大学名誉教授 藤田紘一郎氏が記念講演を行いました。

講演では、「カイチユウ先生」として有名な藤田先生が、実際に自分が「これは良い」と感じた取り組みにシールを貼るパネルコンテストを実施しました。自分

と題し、東京医科大学名譽教授 藤田紘一郎氏が記念講演を行いました。

会場では、多くの人に

第35回おのみち市民健康まつり1,400人が参加 尾道市公衆衛生大会やパネル展示を実施



第40回尾道市公衆衛生大会～健やかな暮らしをつくる人々の集い

会の共催です。当団体は、今年創立60周年を迎えた尾道市公衛協が主催する「第40回尾道市公衆衛生大会」に、健やかな暮らしをつくる人々の集い(6面に関連記事)に続き、「イキイキ長寿健康法～腸を大切にすれば元気に生きられる～」と題し、東京医科大学名譽教授 藤田紘一郎氏が記念講演を行いました。

会場では、多くの人に各展示コーナーを巡回してもらえるようinskyにス

タジーフラリーを行つていました。尾道市公衛協は、各地区公衛協の活動をまとめたパネルの展示室を設け、来場者が「これは良い」と感じた取り組みにシールを貼るパネルコンテストを実施しました。自分

の地区的パネルを探す人、他地区的目新しい活動に感心する人など、展示を熱心に見る来場者が多く印象的でした。

また、うちエコ診断コーナーでは16件の診断を実施し、シール貼付時間接觸させます。その後、ウイルスを回収して細胞に感染させます。ウ

イルスが活性を維持していると細胞はウイルスにより死んでしまいます。反対に、ウイルスが活性を失っていると細胞は生きています。このように試験中の細胞の生死を観察してウイルスの活性

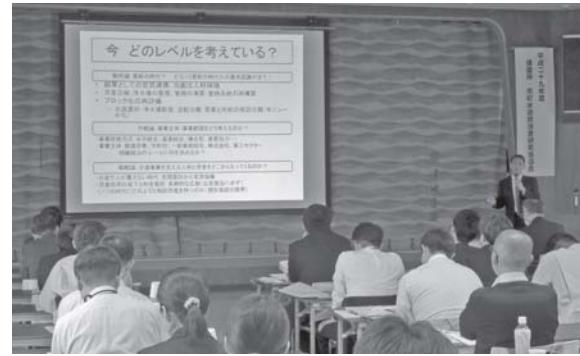
の有無を確認することで、製品の抗ウイルス性能を評価しています。

当協会では、昨年度から抗ウイルス性試験の検査室を整備してきました。抗ウイルス加工製品の市場はますます拡大すると予想されます。今後も新しい製品の有効性を正しく評価できるよう、技術力向上に取り組んでまいります。

(食品衛生課)

平成29年度保健所市町水道担当者研究協議会開催

水道事業の現在位置と将来について考える



当協会(環境生活センター)は、11月2日には、平成29年度に、保健所市町水道担当者研究協議会を公衆衛生会館6階

講堂で開催しました。水道事業体や保健所の関係者約50人が出席し、盛況のうちに閉

換の場として、1988年(昭和63年)から開催されています。時代に即して、広島県食品生活衛生課課長松岡俊彦様、生産課長松岡俊彦様、

廣島市水道局次長橋本勝司様、福山市上下水道局施設部部長鷲田佳樹様を迎えました。また、「水道事業の現

在位置と将来」という演題で、水資源機構経営企画部次長熊谷和哉様(元厚生労働省水道

計画指導室長)に特別講演をいただきました。熊谷様の講演内容は、次のようなものでした。

①2050年には、日本的人口は1億を下回ると予想されているが、人口規模は視点によりさまざまなど見え方があります。

もういたい。

大変先進的かつ、情熱的な講演は聴講者に大きな衝撃を与え、終了時には割れんばかりの拍手がありました。

さらに、広島県食品生

活衛生課主任小松佐和子様から、「最近の水道

水質等について」という演題で、水道法改正や

県内の危機管理体制な

ど水道の運営に必要

な情報が提供され、大変参考になる講演でした。

当協会は食品衛生課

の和田課長が、「水の安

全確保のための遺伝子

診断技術」について情報

提供しました。

(業務開発課 空本祐三)

**環保協の
環境生活
センター**
⑥ 食品衛生課

抗ウイルス加工製品の評価試験

昨年度より検査体制を整備



倒立顕微鏡でウイルスの活性を確認する職員

の有無を確認することで、製品の抗ウイルス性能を評価しています。

当協会では、昨年度から抗ウイルス性試験の検査室を整備してきました。抗ウイルス加工製品の市場はますます拡大すると予想されます。今後も新しい製品の有効性を正しく評価できるよう、技術力向上に取り組んでまいります。

(食品衛生課)